

—災害に備えよう—

## 気象情報に注意して！

### 早めの防災対策・避難行動を心掛けましょう

初夏から秋にかけては、梅雨時期や台風の影響で、大雨、洪水、土砂災害などによる自然災害が発生しやすい季節です。皆さんが早めの避難などの防災行動をとることができるよう、気象庁はさまざま

な『防災気象情報』を発表しています。時間を追って段階的に発表される『注意報』や『警報』などの防災気象情報を有効に活用し、早めめの防災行動をとるようにしましょう。

### 『防災気象情報』を活用し、大雨や台風への備えを

災害から命を守るためには、国や自治体がおこなう対策などの「公助」だけでなく、私たち一人一人の「自助」、すなわち、災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための防災行動を起こすことが重要です。

災害が起こる恐れのあるときには『注意報』、重大な災害が起こる恐れのある時は『警報』、さらに、重

大な災害が起こる恐れが著しく大きいときは『特別警報』を発表し、注意や警戒を呼び掛けます。

雨が降り出したら『土砂災害警戒情報』にも注意しましょう。

『土砂災害警戒情報』が発表されると、市町村は、メッシュ情報で危険が高まっている領域の土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域などに対して避難勧告などの発令を検討します。

## 住民の行動

### 気象情報やハザードマップを確認！

- 土砂災害警戒区域などの危険箇所を把握
- 避難場所や避難ルートを確認



### 最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を！

- 発表中の注意報に、夜間に大雨警報発表の可能性が高いと記載されている場合、土砂災害警戒区域などにお住まいで避難行動に支援を必要とする方は早めの避難

### 土砂災害警戒区域などにお住まいの方は地元市町村からの避難情報を確認し、速やかに避難

- 大雨警報や土砂災害情報の基準に到達した地域では、土砂災害警戒区域外の少しでも安全な場所に避難
- 台風の接近で暴風警報または暴風特別警報が発表された場合、暴風で屋外を移動できなくなる前に早めの避難
- 避難しようとしたときに大雨や暴風で外に出ると生命に危機が及ぶ場合は、2階以上の崖や沢からなるべく離れた部屋で避難



### 既に重大な災害が発生している可能性あり！ ただちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を

- これまで経験したことがないような大雨となったり、重大な危険が差し迫った異常事態



対象地域	自主避難所	避難勧告・指示発令時に順次開設予定の指定避難所
一の宮地区	●一の宮中学校体育館	●一の宮体育館 ●一の宮小体育館 ●一の宮中体育館 ●坂梨公民館 ●旧坂梨小体育館 ●旧古城小体育館 ●中通公民館 (以下の避難所は避難所拡大時開設) ●荻の草公民館 ●農業構造改善センター ●かんぼの宿阿蘇 ●阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎体育館
阿蘇地区	●農村環境改善センター (※) ●阿蘇西小学校(阿蘇西校舎)体育館	●阿蘇体育館 ●農村環境改善センター ●阿蘇中学校体育館 ●旧深葉分校 ●山田小学校体育館 ●阿蘇小学校体育館 ●旧乙姫小体育館 ●阿蘇西小(阿蘇西校舎)体育館 ●尾ヶ石校舎体育館 (以下の避難所は避難所拡大時開設) ●鷲の石公民館 ●今町公民館 ●阿蘇市コミュニティセンター ●赤水公民館 ●永草公民館 ●狩尾1区公民館 ●狩尾2区公民館 ●跡ヶ瀬コミュニケーションセンター ●旧J A阿蘇尾ヶ石支所
波野地区	●波野保健福祉センター	●波野保健福祉センター ●波野中体育館 ●波野小体育館 ●やすらぎ交流館 ●道の駅「波野」 ●農村婦人の家 ●郷土芸能伝承館

(※)九州北部豪雨災害と同等以上の場合(浸水の恐れがある)には利用できません。

■防災情報

<p><b>熊本県防災情報メール</b></p> <p>県内の防災情報発表された場合に携帯電話に直ちにメール配信されるサービスです。</p>		<p><b>熊本県防災情報ホームページ</b></p> <p>県内の危険箇所等を確認することができます。 『熊本県防災』で検索してください。</p>
<p><b>熊本県統合型防災情報システム</b></p> <p>県内の気象情報等をパソコンでリアルタイムに確認できます。『熊本県統合型防災』で検索してください。</p>		<p><b>川の防災情報</b></p> <p>河川の水位情報やライブカメラをリアルタイムで確認できます。『川の防災情報』で検索してください。</p>
<p><b>阿蘇安心安全ネットワーク</b></p> <p>阿蘇地域の災害情報をいち早く携帯電話にお届けします。登録は無料です。</p>		<p><b>お知らせ端末告知情報</b></p> <p>市の『お知らせ端末』に配信される告知がスマートフォンでも見ることができます。</p>

危険度	気象状況	気象庁の情報	市町村の対応
低	大雨の可能性が高くなる 大雨の数日～約1日前		職員の連絡体制を確認 今後の気象情報に注意
	雨が降り始める 大雨の半日～数時間前	大雨注意報	災害準備態勢 連絡員を配置、防災気象情報を把握
	雨が強さを増す		災害注意体制 (避難準備情報の発令を予測できる体制) 予防的避難情報 夜間に警報発表が高い場合及び 台風の暴風域に入ると自主避難所開設
	大雨の数時間～ 2時間程度前	大雨警報 (土砂災害)	警報の発表 災害警戒態勢 (避難勧告の発令を判断できる準備)
	大雨となる	記録的短時間大雨情報 土砂災害警戒情報	土砂災害警戒区域等の必要地域に避難勧告 避難勧告発令時にサイレン(5秒間)でお知らせ
	大雨が一層激しくなる		災害対策本部設置 必要地域に避難指示
高	広い範囲で 数十年に一度の大雨	大雨特別警報	特別警報の住民への周知 避難指示などの対象範囲を再度確認 避難指示発令時にサイレン(10秒間)でお知らせ

# 熊本地震により地盤が緩んでいます 土砂災害に注意してください！

昨年の4月14日以降、熊本県内各地で大規模な地震が発生し、これまでになく地盤が緩んでいます。少ない雨でも、がけ崩れ・土石流などの土砂災害が発生する恐れがありますので注意が必要です。

土砂災害は一瞬にして、尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪い、甚大な被害をもたらします。土砂災害の被害を防ぐためには、一人一人が土砂災害から身を守るように備えておくことが重要です。

## 住んでいるところが『土砂災害箇所危険所』か確認する

土砂災害発生のおそれのある地区は『土砂災害危険箇所』とされています。

自分の家や避難先が土砂災害危険箇所に当たるかどうか、県のホームページ(土砂災害情報マップ)などで確認しましょう。※土砂災害危険箇所でなくても、付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意が必要です。

## 『土砂災害警戒情報』が発表されたら早めに避難する

お住いの地域に『土砂災害警戒情報』が発表されたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。また、強い雨や長雨のときなどは、市町村の防災行政無線や広報車による呼びかけにも注意してください。

お年寄りや障害のある人など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難させることが大切です。

特に「土砂災害危険箇所」「土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域」にお住いの方は、自宅に留まり続けることは危険です。明るい内に、早めに避難所に移動してください。

## 次のような異変を感じたときは、すぐに周りに知らせ、安全な場所に避難しましょう。



山鳴りがする



川の水がにごり、流木が混じりはじめる

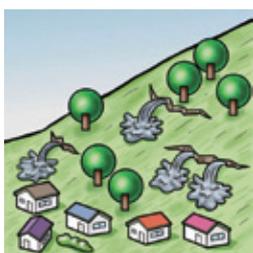


雨は降り続けているのに川の水位が下がる

―前兆現象

山腹、川底の石や土砂が雨によって一気に下流へと押し流される現象

## 土石流



斜面から水が噴き出す



地割れができる



沢や井戸の水がにごる

―前兆現象

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象

## 地すべり



がけに割れ目が見える



がけから水が湧き出ている



がけから小石がパラパラと落ちてくる

―前兆現象

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象

## がけ崩れ

災害時に備えておきたい備蓄品の例

		
<p>下着、衣類</p>	<p>食品</p> <p>ご飯(一人5食分)、ビスケットなど、一人最低3日分の食料</p>	<p>飲料水</p> <p>一人1日3ℓを目安に3日分を用意</p>
		
<p>カセットこんろ</p>	<p>マッチ、ろうそく</p>	<p>トイレットペーパー、ティッシュペーパー</p>

※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

非常持ち出し品の例

		
<p>貴重品</p> <p>預金通帳、印鑑、保険証など</p>	<p>食品</p> <p>缶詰、カップめん、ビスケットなど</p>	<p>救急用品</p> <p>絆創膏、包帯、消毒液など</p>
		
<p>マスク</p>	<p>ヘルメット</p>	<p>飲料水</p>
		
<p>衣類</p>	<p>懐中電灯</p>	<p>軍手</p>
		
<p>予備電池、ラジオ</p>	<p>毛布、タオル</p>	<p>下着</p>
		
<p>洗面用具</p>	<p>ウェットティッシュ</p>	<p>使い捨てカイロ (冬季)</p>

※乳児のいる家庭はミルクや紙おむつ、ほ乳びんなども用意しておきましょう。

これだけは備えておきたい、防災グッズ

21 選

熊本地震では、阿蘇市でも多くの世帯で電気や水道などのライフラインがストップしました。このような状況に陥っても、自力で生活ができるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。避難生活に必要なものをリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるよう備えましょう。

四角の枠にチェックを入れて、持ち出し品を確認しましょう！